

平成24年（2012年）度

第2次

金沢大学大学院法務研究科

入学試験問題

小論文

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は10枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 問題1と問題2の解答は、別々の解答用紙に記入してください。

平成24年度（2012年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

|      |     |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

※ 問題1と問題2の解答は、それぞれ別の解答用紙を用いること。

問題1

出典：本多勝一『日本語の作文技術』（朝日文庫、1982年）より一部省略・変更の上、28頁より40頁本文まで引用

以下の文章を読み、空欄部分①・②・③・④を指定された字数に従った語句で埋め、これを完成させなさい。

問題2

（出典）河合隼雄氏の「個人・家・社会」（同『家族関係を考える』（講談社現代新書、1980））による。

問1 （下線1）のように定式化するに至った筆者の考えを400字以内で説明しなさい。

問2 （下線2）で筆者のいう「父性」とは何か。350字以内で説明しなさい。